

相模原市立勤労者総合福祉センターの次期指定管理者公募 に向けたサウンディング型市場調査の結果について

令和5年度に予定している相模原市立勤労者総合福祉センター（愛称：サン・エールさがみはら）の次期指定管理者の公募に向け、当該施設の今後の管理運営に関し、民間事業者の皆様からご意見を伺うサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

1 実施経過

- 令和4年10月 5日(水) 実施要領の公表
- 令和4年10月24日(月) 事前説明会 ※未実施（希望団体なしのため）
- 令和4年12月 9日(金) 対話の実施【参加団体：1団体】

2 調査内容等

(1) 対象施設

- 施設名 相模原市立勤労者総合福祉センター
- 所在地 相模原市緑区西橋本5丁目4番20号

(2) 主な対話内容

- ア センターの効果的な管理運営
- イ スペースの有効活用及び付随するサービス
- ウ その他

3 結果概要

別紙のとおり

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、令和5年度に次期指定管理者の公募を行います。

問合せ先

産業・雇用対策課

電話 042-769-8238

結果概要

参加事業者との対話を通じて、次のような意見・提案をいただきました。

1 センターの効果的な管理運営

- 施設・設備の維持管理について、点検業務等を精査する必要があるとの提案があった。
- 指定期間中に実施した利益還元をはじめとする事業や管理運営における実績等については、次期指定管理者の選考に際して評価されることが望ましいとの意見があった。

2 スペースの有効活用及び付随するサービス

- 情報コーナーについて、配架資料等を精査することで、より魅力的になり得るとの提案があった。

3 その他

- 施設に付随しているレストランのテナント事業者について応募団体に提案させることは、応募団体の負担が大きく、参入障壁になり得るとの意見があった。
- より効果的な事業実施のため、指定管理の期間を現在の5年間より更に長いものとするのが望ましいとの意見があった。
- 次期指定管理者の募集に際しての指定管理料の算定にあたっては、昨今の光熱費の高騰はもちろん、法令改正等による人件費の上昇や、施設利用料金改定による収益の増減を十分に踏まえる必要があるとの意見があった。

以上